

中本達也銅版画作品展示

芸術資源館（国立市東3丁目15-11）

第1期：11月4日（金）～13日（日）

第2期：11月16日（水）～27日（日）

* 開館時間：13時～17時（月火は休館、水曜日21時閉館）

電話：070-3898-3425

office@nu-art.tokyo

芸術資源館所蔵の中本達也銅版画作品を『中本達也銅版画作品集1・2』（1974年出版）に沿って、上記2期に分けて展示します。

死後作品集として出版された銅版画作品は、中本達也が第1回みづゑ賞、第3回安井賞を受賞した1959年、若手作家として画壇に乗り出した3年間のものです。それまでのモチーフである「さかな、鳥、牛」などに加えること「西瓜、花、貝殻、実」といった小さな生物への眼差しも見られます。

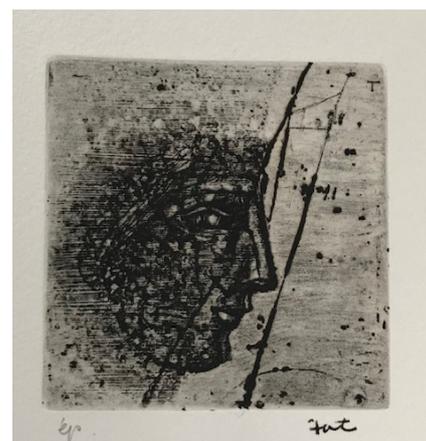
みづゑ賞受賞作品を思わせる魚を描いた「潮」や、安井賞作品「群れ」に現れる牛を描いた「いきもの」「野」など、作家の心象を見ることができます。油彩で描かれた世界と違ってモノトーンに息づくそれらの生物は、見る者を優しくいざなう、静謐さを感じさせます。

今回展示する24葉の中に「壁の人」（第1集）と題された一枚があります。男性の横顔は、いかにも断片として残された壁であることを告げるように、大きな破線が刻印されています。これなどは、残された壁面人物、という中本達也後期の作品テーマを予兆させます。

他に「網」のような、出身地山口県大島の漁村を思わせる風景描写もあり、中本作品を知るうえで、新たな視点を与えてくれます。

アトリエには当時の銅板原板も残されていました。作家のタブローでの仕事と、その美をご覧ください。

11月5日（土）「ナイトレクチャー」（18:00～20:00）開催
銅版画展示を前に、中本達也の銅版画作品の全体像を紹介し、参加者で意見交換したいと思います。お気軽にご参加ください。参加費500円。
Zoomでのご参加も可能です。メールで直接お申し込みください。



中本達也銅版画作品展示リスト

第1期展示作品

	タイトル	製作年	サイズ
1	潮	1960	66X178
2	海	1962	88X138
3	黒土	1960	88X138
4	鳥	1959	82X100
5	壁の人	1962	88X87
6	少女	1960	138X88
7	巣	1962	138X111
8	ザクロ	1960	177X70
9	森	1960	138X178
10	小さな花	1960	138X131
11	夏の花	1961	88X106
12	春	1962	107X187

第2期展示作品

	タイトル	製作年	サイズ
13	海鳥	1960	89X138
14	さかな	1959	89X138
15	鳥の巣	1961	89X138
16	南国の実	1961	89X138
17	卵と実	1961	62X178
18	網	1960	137X88
19	いきもの	1961	137X88
20	青い実	1960	158X61
21	野	1962	146X188
22	西瓜	1960	105X158
23	一つの葉	1961	89X133
24	野鳥	1962	101X134